

特集 ● 学長一行が行く〜南北アメリカ縦断日誌〜

特集 ● 学長一行が行く〜南北アメリカ縦断日誌〜

学長一行が行く 〜南北アメリカ縦断日誌〜



三重大学長
内田 淳正 Uchida, Atsumasa

8月中旬にアメリカ、ブラジル、ペルーと2週間の出張。アメリカではボストンのハーバード大学、インディアナポリスのインディアナ大学、サンディエゴのカリフォルニア大学サンディエゴ校を訪れ、学生交流や研究協力の話をまとめました。

ブラジル・サンパウロ大学とペルー・リマの国立ラ・モリーナ農業大学とは大学間連携協力協定を締結しました。ハードでしたが、稔りの多い旅でした。

サンパウロではわれわれ一行の歓迎のために三重大学農学部南米三翠同窓会が開かれました。同窓生20人とその2世、3世の家族を含め、総勢60人の方が集まり、昔話に花を咲かせました。ブラジルに大きな夢を抱き、待ち構える数々の苦労をもとせずに現在の成功を勝ち取った自信にあふれた表情は三重大学の誇りです。後に続く若者の夢と志と行動力を期待しています。航空機の発達で世界は狭くなり、南米までもひとつ飛びです。学生諸君!大なる飛躍を期待しています!

国立ラ・モリーナ農業大学 カジェタノ・エレディア大学

2013.8.21—8.23

三重大学副学長(国際担当) 江原 宏

国立ラ・モリーナ農業大学 (UNALM) においてペルーの大学とは初となる学術交流協定および学生交流覚書を締結しました。UNALMは1902年に設立され、8学部・4大学院に学生数約6,000人を有する、農業、畜産、森林、漁業、食品工学等のリーダー的学術教育機関です。ペルー沖の海洋環境の調査や、アンデス山脈およびアマゾン川流域の自然資源を対象とした研究開発が特徴的です。また、滞在中に、カジェタノ・エレディア大学 (UPCH)、附

属熱帯医学研究所、リサーチ・ユマニア症・マラリア研究室を訪問しました。UPCHは感染症、保健衛生、環境科学や資源植物等に関する研究が盛んな大学です。医学、生命科学、生物学分野での連携に向けて意見交換を行いました。



国立ラ・モリーナ農業大学



カジェタノ・エレディア大学

カリフォルニア大学 サンディエゴ校

2013.8.24

三重大学大学院医学系研究科・教授
島岡 要

カリフォルニア大学・サンディエゴ校 (UCSD) を訪問しました。米国ではハーバード大学やスタンフォード大学など私立大学が研究を牽引する中で、公立の州立大学として健闘しているUCSDの研究・教育施設を視察しました。UCSD医学部整形外科の舛田教授とお会いし、グローバルなレベルでの医学研究の進め方、臨床医学研究者の育成方法、さらにはバイオエンジニアリング分野での三重大学との共同研究・人材交流のハブとなるセンター構想について意見を交換しました。



ハーバード大学

2013.8.13—8.14

三重大学大学院医学系研究科・教授 島岡 要
ハーバード大学で幅広い分野の研究者と意見交換し、世界最先端の研究事情を理解するための情報収集と共に、三重大学との共同研究や人材交流の具体案について話し合いました。ハーバード大学公衆衛生大学院のReich教授とは医療政策のあり方について、ハーバード大学アジアセンターMills博士とはグローバルな文化の発信の戦略について、フォーサイス研究所の河井学部長とは現在進行中の三重大学とのリサー



チンターシップについて、在ボストン日本領事館の渡辺 主席領事とは日本の外交政策と高等教育の連携についてディスカッションを行いました。また、ハーバード大学医学部ダナ・ファーパー癌研究所では留学中の日本人若手研究者との交流会を行いました。

トップレベルの研究者との意見交換が行われたんだね



インディアナ大学

2013.8.15—8.16

小林 道弘 (平成2年医学部医学科卒)
吉本 桃子 (平成5年医学部医学科卒)

私たち夫婦は2005年にともにポスドク*としてインディアナ大学にやってきました。8年の間に夫はラボを一回変わり、私もラボをやめようかと思うこともありましたが、それでも二人とも論文をだし、Research Assistant Professorのポジションに昇格しました。そして、私たちが三重大学病院の病棟で働いていたときに、整形の教授だった現学長の内田先生とこのインディアナで国際交流のために15年ぶりに再会できたことは、たいへん嬉しく思っています。アメリカ来ると日本の良さが本当に良くわかります。日



本は世界一です。ぜひアメリカに来て、日本のすばらしさを再認識してください。そして、自信をもって世界と渡り合ってください。

インディアナ大学は三重大学に似ていて、インディアナ大学出身の先生は愛校心が強く、インディアナ大学をより良くしようと頑張っています。インディアナ大学と三重大学の交流は、両校にとって実りあるものと信じています。

*ポスドク：博士号を取得した研究者

三重大学のみなさんへ

4歳から80歳までの方々が参加したんだよ



三重大学農学部 南米三翠同窓会

2013.8.18

南米三翠会 徳力 啓三、野口 博史、角谷 博

学長ご一行がブラジルを訪問すると聞き、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイに散らばる20人のOBに声をかけ、これまでにない歓迎をしようと計画しました。全員参加というわけにはいきませんでした。OBやその家族60人と4人の先生が集まり、6時間に及ぶ大交流会になりました。三

重大学の前身である三重大高等農林学校の三翠応援歌を全員で合唱し、若き時代を甦らせることができました。今後、三重大学とブラジルの研究者交流が活発に行われることが予想されます。その際には、南米三翠会も協力し、三重大学の発展に少しでも寄与できればと思っています。



徳力さん 野口さん 角谷さん



サンパウロ大学

2013.8.19—8.20

三重大学理事(国際交流担当)・副学長 堀 浩樹

南米における最大かつ最高の大学であると云われているブラジル・サンパウロ大学と大学間協定を締結しました。サンパウロ大学は学生数9万人の大規模校ですが、内田学長が調印式で「サンパウロ大学に比べ三重大学は非常に小さな大学ですが、“山椒は小粒でもびりりと辛い”という諺が示すような優れた大学です」と挨拶をされたように、堂々と良好な交流関係を発展させていきたいと思ひます。これまでの交流は、人文学部が中心でしたが、今後は医学部や生物資源学部との交流も実施していきたいと考えています。今回の訪問には、三重県の親善使節団が同行しており、三重県知事も調印式に同席されました。

